

地域・保護者・学校関係者への教育長メッセージ ③②

『コミュニティースクールへ』

十月となり地域のイベントが続いています。市の文化展や芸能交流会、コミュニティのフェスティバル、防災訓練など子どもたちにも保護者の皆さんにも地域の一員としての参加をお願いしています。

津島市内の小中学校は、今年度中に学校運営協議会を立ち上げ、すべての学校がコミュニティースクール（以下CS）になります。CSでは、学校と保護者、地域で、どのような学校をつくるのか、どのような地域づくりに参画していくのかについて話し合ってください。「あれもこれも」ではなく、学校と地域が「このこと」と決めた内容を一点集中全面展開で、ニーズに応じた取組をします。九月の終わりに行った各校区のCS代表の方と教育長との話し合いでは「先生方の困り感をアンケート調査し、CSの活動に反映」「宿題を見る会や芋掘り体験、簡易なキャンプファイヤーやクリスマス会、通学の見守り隊などを実施」「防災と共に防犯の教育を」「中学校の部活動のあり方についての学習会」など積極的で前向きな意見をうかがいました。出来ることから、出来る時から、出来る地域から進めていただくつもりです。

十月から、外部講師による「楽しく分かり役に立つ」授業を行っています。市内の小学校五年生と中学校二年生のすべての学級で行っています。人型ロボットによるプログラミング教育の「見える化」。ロボホン（シャープのロボット）とレゴブロックを組み立てています。試行錯誤をする中で筋道を立てて考える論理的思考力の育成を狙っています。何校かで授業参観をしましたが、ロボットを動かすことに意欲的で楽しそうな子どもたちの様子を見ることができました。現在、子どもたちは各学校のロボットにネーミングをしています。市教委ではこの学習の名前も公募しているところです。

縄跳び名人による「縄跳び教室」も進んでいます。縄跳びの世界チャンピオンを講師に招き、小中学校の全学年で、様々な跳び方を教えていただいています。小学校低学年の子どもたちが二重跳びを練習したり、高学年の子どもたちがハヤブサや三重跳びにチャレンジしたりしている姿を見ることができます。名人の技を知り、楽しく調整力を身に付けてほしいと思います。

これらの活動を通して、「魅力的で、きらりとひかる津島の教育」を加速させていきたいと考えています。

各駅に止まる電車や秋日和

相談は分刻みなり秋の暮

令和4年11月4日
津島市教育委員会
教育長 浅井厚視